

道南ブロック労福協「2016年度ウェルフェアスクール」開催

～震災の場にいるような臨場感～

道南ブロック労福協主催のウェルフェアスクールを6月3日（土）、函館市大森町「サン・リフレ函館」で開催し、道南各地から100名を超す参加者が集まりました。

今回のメインである「私が体験した東日本大震災」と題した講演は、「みらいサポート石巻」の語り部『佐藤麻紀』さんを招いて行われ、「もし、自分だったら…」という視点で考えてもらいたいと述べた上で、震災が発生したその瞬間から遺骨となった実母との対面までを語って頂き、津波が迫ってくる音や臭い等、まるでその場にいるような臨場感のある講話を受けました。

佐藤さんは「私は防災の専門家ではないので、災害時の備えや何を持ち出すべき」ということは説明できないが、「一番大事なものは命」と言い、最後に「今日感じたことを家庭で、一番大事な人と話して欲しい、それが語り部を続ける目的」と語りました。自分がその立場であったらという思いからか、多くの参加者がもらい泣きする講話でした。

その後、「超低金利時代、ろうきんを利用して得をしよう！」と題して、北海道労働金庫函館支店の副島支店長から個人型確定拠出年金（個人型DC）の利点や給料の振込口座はろうきんが便利でお得であることについて説明しました。

続いて、全労済道南支店の加藤副支店長から地震列島である日本の自然災害に備えるために必要な補償について説明し、前段の東日本大震災に関する講話の残像から必要性がイメージできる内容でした。

最後に、三島副会長（森林労連・医療生協）から「労福協に結集する労働団体や事業団体が果たすべき役割をこれからも追求していきたい」と挨拶し、2016年度のウェルフェアスクールを閉会しました。

